

高山和喜名誉教授が「瑞宝中綬章」を受章 (令和2年4月29日)

元流体科学研究所教授の高山和喜名誉教授が、長年にわたる学術研究ならびに教育に対する功労とその顕著な功績に対し、春の叙勲「瑞宝中綬章」を受章されました。

主な功績

同氏は、永年にわたって流体力学、特に衝撃波工学の分野における教育・研究に努め、この分野の研究の進展に多大なる貢献をされました。その功績は多岐にわたります。日本の有人宇宙飛行計画を支援するため、宇宙機大気圏再突入を模擬する地上実験装置開発を先導し、宇宙航空研究開発機構角田宇宙センターに世界最高性能を誇る大型高温衝撃風洞設置に貢献されました。また、水中衝撃波を制御して非観血的に腎臓結石を除去する体外衝撃波結石破碎装置の開発を行い、国内で初めて臨床治療に成功されました。これらの成果を通して、我が国の新規な流体力学、とりわけ世界最高水準の流体科学の向上発展に多大なる貢献をされました。

問い合わせ先： 流体科学研究所総務係

電話：022-217-5302

E-mail: ifs-som@grp.tohoku.ac.jp